

1-2 医療薬事課（感染症予防チーム）

**(1) 感染症対策の推進**

1 予防接種普及事業

流行のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するため、市町村に対し、予防接種法に定められた定期・臨時の予防接種の適正な実施及び予防接種による健康被害への対応について技術的助言を行いました。

(1) 予防接種事故対策負担金

市町村が予防接種健康被害を受けた者に対して支弁した医療費、医療手当、障害年金の給付額の4分の3を県が負担（県が支弁した額の3分の2を国が負担）するものですが、平成27年度は該当ありませんでした。

(2) 予防接種事故発生調査費補助金

市町村が予防接種健康被害調査委員会を開催し、調査等に要した費用の4分の3を県が負担（県が支弁した額の3分の2を国が負担）するものですが、平成27年度は該当ありませんでした。

■日本脳炎の接種者数 (平成27年度)

市町村名	1 期初回		1 期追加	2 期
	接種者数			
	第 1 回	第 2 回	接種者数	接種者数
25年度計	1,470	1,431	1,934	526
26年度計	1441	1375	1546	444
27年度計	1171	1128	1222	653
相馬市	295	299	337	103
南相馬市	366	327	346	185
広野町	22	22	22	15
檜葉町	33	33	38	24
富岡町	99	103	90	60
川内村	11	13	11	7
大熊町	82	81	103	51
双葉町	29	31	25	15
浪江町	120	113	128	87
葛尾村	5	6	14	6
新地町	57	53	58	75
飯舘村	52	47	50	25

※接種期間 生後6ヶ月～90ヶ月

※望ましい期間 1期初回：3歳、1期追加：4歳、2期：9歳

※平成17年5月に定期予防接種としての日本脳炎ワクチン接種の積極的な勧奨を差し控えていたが、平成22年から積極的勧奨を再開しました。

■ BCGの接種者数 (平成 27 年度)

市町村名	接 種 者 数		計
	6月未満	6月～1歳	
H25年度計	644	313	957
H26年度計	581	480	1061
H27年度計	413	775	1188
相馬市	198	97	295
南相馬市	3	380	383
広野町	0	28	28
檜葉町	13	29	42
富岡町	40	52	92
川内村	9	2	11
大熊町	1	76	77
双葉町	13	16	29
浪江町	56	52	108
葛尾村	6	4	10
新地町	48	9	57
飯館村	26	30	56

※接種期間は生後 5 ヶ月～8 ヶ月に達するまでの期間。ただし、地理的条件、交通事情、災害の発生その他の特別の事情によりやむを得ないと認められる場合においては、1 歳に達するまでの期間です。

■ MR (麻しん・風しん) の接種者数 (平成 27 年度)

年度	麻しん・風しん(混合)	
	1期	2期
H25年度計	1987	2187
H26年度計	1035	1138
H27年度計	1120	1141
相馬市	299	277
南相馬市	350	348
広野町	30	37
檜葉町	40	33
富岡町	104	87
川内村	11	6
大熊町	42	101
双葉町	25	34
浪江町	106	117
葛尾村	6	11
新地町	56	56
飯館村	51	34

※接種期間 1期:1歳児 2期:5歳～7歳未満で小学校就学前1年間の者、平成 20 年 4 月～平成 25 年 3 月までの 5 年間は、第 3 期: 中学 1 年生に相当する者、第 4 期: 高校 3 年生に相当する者が対象になっています。

■①三種混合（Dジフテリア、P百日せき、T破傷風）

②四種混合（Dジフテリア、P百日せき、T破傷風、I P V急性灰白髄炎）

（平成 27 年度）

市町村名	第1期初回			第1期追加接種	第2期DT	第1期初回			第1期追加接種
	接種者数			接種者数	接種者数	接種者数			接種者数
	第1回	第2回	第3回			第1回	第2回	第3回	
H25年度計	7	7	32	272	3201				
H26年度計	3	5	23	247	1217	1237	1234	1232	1237
H27年度計	2	1	5	13	1050	1217	1216	1173	1176
相馬市	1	1	1	1	299	284	293	281	304
南相馬市	1	0	3	9	363	412	397	384	358
広野町	0	0	0	0	34	15	21	26	23
檜葉町	0	0	0	0	23	52	44	36	44
富岡町	0	0	0	0	75	90	90	90	106
川内村	0	0	0	0	12	11	12	12	16
大熊町	0	0	0	1	0	93	91	84	91
双葉町	0	0	0	0	15	28	31	31	29
浪江町	0	0	0	1	99	109	111	104	93
葛尾村	0	0	0	0	14	10	9	8	13
新地町	0	0	0	0	71	67	60	57	53
飯舘村	0	0	1	1	45	46	57	60	46

①三種混合＝ジフテリア、百日せき、破傷風

※望ましい期間 1 期初回：生後 3 ヶ月～12 ヶ月、1 期追加：12 ヶ月～18 ヶ月

※2 期 D T トキソイド：11 歳～12 歳（小学 6 年生）

②四種混合＝ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎

※望ましい期間 1 期初回：生後 3 ヶ月～12 ヶ月、1 期追加：12 ヶ月～18 ヶ月

※四種混合は平成 24 年 11 月 1 日から導入されました。

■急性灰白髄炎（不活化ポリオワクチン）の接種者数（平成 27 年度）

市町村名	急性灰白髄炎（単高原IPV）			追加接種
	初回接種			
	第1回	第2回	第3回	
相馬市	2	7	17	29
南相馬市	2	11	14	43
広野町	1	1	1	5
檜葉町	0	2	2	0
富岡町	4	3	2	11
川内村	0	1	1	0
大熊町	0	0	2	9
双葉町	0	1	1	2
浪江町	1	2	3	11
葛尾村	0	0	0	0
新地町	0	2	2	4
飯舘村	0	0	2	5
計	10	30	47	119

※投与期間 生後 3 ヶ月～90 ヶ月

※望ましい期間 生後 3 ヶ月～18 ヶ月

※平成 24 年 9 月から不活化ポリオの個別接種が開始されました。

## 2 感染症予防対策事業【所重点】

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）に定められた各疾病の発生時に、必要な措置をとるとともに、疫学調査を実施し、感染経路の究明を図りました。

また、接触者等に対して健康診断を行い、二次感染の防止に努めました。

### (1) 感染症予防費等負担金

感染症の病原体に汚染された場所の消毒に要する経費等の市町村支弁分に対して負担金を支出しました。

負担率：2/3（国 1/2、県 1/2）

交付件数：3件

### (2) 腸管出血性大腸菌感染症予防対策事業

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生に対する検査及び感染拡大防止対策を実施しました。

### (3) 移送費

一類・二類感染症患者等が発生した場合に、患者発生場所から感染症指定医療機関へ移送できる体制を整えています。

### (4) 感染症診査協議会の運営

患者の入院勧告及びその延長に関する必要な事項を審議するため、感染症診査協議会を開催しました。

感染症診査協議会は、感染症法第 19 条、20 条（応急入院、本入院）及び第 37 条の 2（一般患者に対する医療）に関する事項並びに法 18 条に基づく就業制限について、諮問結果を答申しています。また、保健所はこの答申に基づき、法第 37 条及び第 37 条の 2 による医療費を公費負担しました。

※ 原子力災害により診査協議会委員の確保が困難となったため、平成 23 年度からは県北地区感染症診査協議会委員に相双地区の診査を依頼していましたが、平成 27 年度から相双地区感染症診査協議会を再開しました。

開催時期：毎月 第 3 水曜日

開催場所：相双保健福祉事務所

### ■感染症診査協議会の診査の状況（平成 27 年度）

区分	申請件数	合格件数	承認件数
入院勧告	2	2	2
延長入院	9	9	9
37条の2	13	13	13
計	24	24	24
就業制限	4	4	4

※就業制限は腸管出血性大腸菌感染症 1 件を含みます。

### ■相双地区感染症診査協議会委員名簿（平成 27 年度）

氏名	職名	氏名	職名
標葉 隆三郎	医療法人社団茶畑会 相馬中央病院 院長	神戸 敏行	南相馬市立総合病院 診療部内科長
志賀 嘉津郎	志賀医院 院長	大石 明	大石医院 院長
西山 健司	ひばり法律事務所 弁護士	梅田 茂子	相馬人権擁護委員協議会 人権擁護委員

- (5) 入院患者医療費  
県が入院勧告又は入院の措置をした場合において、患者が受ける医療に要する費用のうち、社会保険等で負担される部分を除いた費用を負担しました。
- (6) 指定医療機関運営費補助金  
一類・二類感染症患者を入院治療する感染症指定医療機関の補助を行い、患者発生時の体制を整備しました。(本庁感染・看護室)
- (7) 麻しん対策事業  
麻しんを排除するため、市町村への技術的支援及び住民への普及啓発を図りました。
- (8) 新型インフルエンザ等対策推進事業
- ①管内市町村の「新型インフルエンザ等対策行動計画」及び「新型インフルエンザ等対策マニュアル」の策定を支援しました。
  - ②所内研修会の開催  
新型インフルエンザの発生に備え、職員に対し、以下の研修を実施しました。
    - 「感染症の基礎知識」の講話
    - 「防護服の着脱訓練」「救護所(エアートント)設置訓練」

### 3 感染症発生動向調査事業

感染症の発生状況や動向を早期に把握し、感染拡大の防止を図るため、各定点医療機関からの報告を感染症情報センターに報告し、還元された情報を管内関係機関に提供するとともに、ホームページで公表しました。

定点医療機関：7 医療機関（11 定点）

#### ■ 感染症発生動向調査報告件数の推移

類型	感染症名等	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
二類感染症	結核	23	20	17	10	17	14
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症等	2	8	1	1	4	2
四類感染症	全数報告分	0	0	0	0	2	1
五類感染症	全数報告分	5	2	2	5	3	3

### 4 相双地域感染症ウィークリー情報発信事業【創意事業】

福島県感染症発生動向調査週報（公表機関：衛生研究所）公表のために管内における感染症発生動向を集約していますが、集約した地域の感染症情報を管内医療機関にフィードバックするとともに、市町村等にも情報提供しました。

## (2) 結核対策の推進

### 1 結核定期健康診断補助金

結核対策を確実なものとするため、私立学校及び施設が行う結核定期健康診断に対し、補助金を交付しました。

交付件数：10 件

■結核定期健康診断の実施状況

(平成 27 年度)

区分	対象内訳	事業所	高等学校	施設	市町村 (65歳以上)	合計
			その他 学校			
対象者数		4,576	1,049	672	53,184	59,481
受診者数		4,403	1,049	658	15,103	21,213
受診率 (%)		96.2	100	97.9	28.4	35.7
間接撮影受診者数		1,952	1,049	50	14,438	17,489
直接撮影受診者数		2,451	0	608	665	3,724
喀痰検査受診者数		18	0	0	0	18
発見 状況	結核患者数	-	-	-	-	-
	発見率 (%)	-	-	-	-	-
	発病の恐れ ある者	-	-	-	29	-
	発見率 (%)	-	-	-	-	-

※ 結核定期健康診断の対象者

- ①業者(学校及び病院、診療所、助産所、介護老人保健施設において業務に従事するもの)
- ②学校(高等学校、高等専門学校、専修学校、養護学校の入学年次の生徒)
- ③施設(救護施設、養護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム、身体障害者療護施設、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設、知的障害者通勤寮に従事する者、及び65歳以上の入所者)
- ④市町村(65歳以上の者)

■結核定期健康診断受診状況(一般住民)

(平成 27 年度)

市町村名	対象人数	受診人数	受診率 (%)	一次検診	精密検査		発見者数	
				間接撮影	直接撮影	喀痰検査	発病の恐れある者	結核患者
25年度計	50,108	13,705	27.4	12,967	738	0	0	0
26年度計	52,097	14,694	28.2	14,244	580	0	0	0
27年度計	53,184	15,103	28.4	14,438	665	0	29	0
相馬市	10,193	2,797	27.4	2,797	0	0	0	0
南相馬市	19,827	4,101	20.7	4,101	0	0	0	0
広野町	1,366	478	35.0	478	0	0	0	0
檜葉町	2,298	579	25.2	579	0	0	0	0
富岡町	3,542	1,088	30.7	964	124	0	0	0
川内村	1,014	445	43.9	408	37	0	0	0
大熊町	2,578	789	30.6	789	0	0	29	0
双葉町	2,016	600	29.8	412	188	0	0	0
浪江町	5,644	1,996	35.4	1,680	316	0	0	0
葛尾村	537	207	38.5	207	0	0	0	0
新地町	2,403	1,151	47.9	1,151	0	0	0	0
飯館村	1,766	872	49.4	872	0	0	0	0

2 結核対策特別促進事業

結核予防を推進するため、地域の実情に応じた対策を実施しました。

(1) モデル診査会の開催

開催月日：平成 27 年 12 月 4 日

内 容：①症例検討 3 事例

②講 演 「医療現場で役立つ結核の最新事情」

- 出席者：45名
- (2) 関係医療機関との DOTS カンファレンスへの参加
- (3) 結核ミニ講座の開催  
実施時期：随時

### 3 結核医療事業

結核の適正な医療の普及と結核の感染予防のため、感染症法の規定に基づき、入院・通院に係る医療費の公費負担を実施しました。

当所は、患者票交付等の事務を行いました。

- (1) 一般患者（法第 37 条の 2）医療費公費負担事業
- (2) 入院患者（法第 37 条）医療費公費負担事業

### 4 結核患者管理事業

感染症法第 17 条に基づく定期外の健康診断及び第 53 条の 13 に基づく登録患者の健康診断を医療機関等への委託により実施しました。

また、感染症法第 25 条に基づき、登録患者及びその家族に対して、家庭訪問を実施しました。

- (1) 接触者健診の状況 (平成 27 年度)

結核患者が発生した場合、その家族を中心に健診を実施していますが、同居家族に限らず患者と接触の多い者を含めて接触者健診として実施しています。

対象者数	受診者数	受診率	要医療	発病の恐れのある者
127	124	97.6%	8	0

※対象者：患者家族及び接触者等

- (2) 管理検診の状況 (平成 27 年度)

結核回復者（医師から治癒と判定されてから 2 年以内の者）、治療放置及び病状不明等の者に対して、委託医療機関と契約による検診を実施しています。

また、管理検診のほかに、治療終了後も自主的に受診し経過をみている者については、主治医に病状照会するなどして再発の心配がないか確認しています。

対象者数	受診者数	受診率	要医療	発病の恐れのある者
28	27	96.4%	1	0

※対象者：治療放置患者、経過観察患者、病状不明者等

- (3) 家庭訪問指導の状況 (平成 27 年度)

(単位：件)

平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家庭訪問	1(1)	4(1)	3(0)	2(1)	3(2)	3(2)	3(2)	4(2)	6(1)	7(0)	1(0)	2(0)	39(12)

※対象者：一般患者及び入院患者とその家族

※括弧内は、入院患者への面接回数

### (3) エイズ対策、肝炎対策の推進

#### 1 エイズ対策促進事業

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、地域の実情に応じたエイズ対策を推進しました。

##### (1) 普及啓発事業

##### ア 世界エイズデー・キャンペーン

ショッピングモール等において、啓発用資材の配布等キャンペーンを実施しました。

実施時期：12月

実施場所：南相馬市内

##### イ 啓発活動

南相馬合同庁舎内にレッドリボン、パンフレットの配布コーナーを設置するとともに、ポスター等掲示や各種講演会等でのパンフレットの配布を実施しました。

実施時期：11月

#### ■エイズ講座の開催状況（平成22年度～27年度）

年度	中学生		高校生		医療関係		福祉関係		一般	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
平成22年度			1	83						
平成23年度										
平成24年度							2	145	12	216
平成25年度			1	108	1	52				
平成26年度										
平成27年度	1	419			1	47			1	30

##### (2) エイズ一般相談

エイズに関する地域住民からの相談（来所、電話）に対応しました。（随時）

#### ■エイズ相談状況（平成26～27年度）

年度	区分	男性	女性	計
平成26年度	電話相談	27	5	32
	来所相談	18	6	24
平成27年度	電話相談	23	6	29
	来所相談	16	4	20
計		39	10	49

#### ■エイズ相談内容（延べ件数）

（平成27年度）

	相談内容	件数
1	症状・感染経路等の相談	22
2	発生状況の問い合わせ	0
3	不安の訴え	44
4	予防方法等の相談	1
5	専門医療機関の場所の問い合わせ等	1
6	抗体検査実施医療機関の問い合わせ	3
7	サーベイランス体制の問い合わせ	0
8	国や県の体制内容についての問い合わせ	0
9	輸血用血液・血液製剤の安全性	0
10	その他	10
	合計	81



## 2 エイズ・肝炎検査事業

感染者・患者の早期発見と住民の不安の除去を図るため、H I V抗体検査及び肝炎ウイルス検査を実施しました。

### (1) H I V抗体検査事業

H I V抗体の匿名検査を原則無料で実施しました。

(原則予約制で週1回実施、夜間検査は月2回実施)

■ H I V抗体検査数の推移 (平成20～27年度)

※ ( ) 内は夜間検査の再掲

年度	検査数			備考
	男性	女性	合計	
平成20年度	24(11)	17( 2)	41(13)	
平成21年度	15( 7)	12( 3)	27(10)	
平成22年度	18( 8)	10( 6)	28(14)	
平成23年度	10( 2)	2( 1)	12( 3)	4月～5月31日まで震災のため休止。
平成24年度	11( 5)	2( 1)	13( 6)	
平成25年度	16( 4)	3( 1)	19( 5)	
平成26年度	19( 5)	6( 0)	25( 5)	
平成27年度	15( 6)	4( 0)	19( 6)	

## 3 肝炎医療事業

肝がん等への進行予防や効果的な肝炎治療を推進するため、患者の経済的負担の軽減を図り受診機会の拡大を図りました。

当所は、肝炎治療受給者証の交付申請書の受付等の事務を行いました。

■肝炎治療受給者証の交付申請件数(平成26年度～27年度)

年度	インターフェロン治療				インターフェロンフリー治療	核酸アナログ製剤治療	
	新規	延長	2回目	3剤併用療法		新規	更新
平成26年度	6	0	0	1	7	5	30
平成27年度	1	0	0	0	42	7	28

## 4 保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、肝炎ウイルス検査等に関する相談窓口を設置し、来所や電話による相談に対応しました。(随時)

■相談件数(平成26年度～27年度)

年度	区分	男性	女性	計
平成26年度	電話相談	29	20	49
	来所相談	24	14	38
平成27年度	電話相談	37	35	72
	来所相談	33	20	53

■相談内容(延べ件数)

(平成 27 年度)

	相談内容	件数
1	症状・感染経路・予防方法等の相談	9
2	発生状況等の問い合わせ	0
3	不安の訴え	16
4	医療機関での診療、検査対応等に関する問い合わせ	10
5	国や県の体制の内容についての問い合わせ	5
6	輸血用血液・血液製剤の安全性に関する問い合わせ	0
7	寛延医療費助成	99
8	その他	8
合 計		147

■肝炎ウイルス検査の推移 (平成 23 年度～平成 27 年度)

年度	HBS 検査数			HCV検査数		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
平成23年度	1	3	4	1	4	5
平成24年度	5	0	5	5	0	5
平成25年度	4	1	5	4	1	5
平成26年度	8	8	16	8	8	16
平成27年度	6	1	7	6	1	7